

味の濃さが自慢!! 厚が評判!! すき昆布

田代のすき昆布は、昭和40年代初期、田代名産地区の漁師さん達が漁の合間に「海の野菜」と呼ばれた海苔の三本を干し、塩水で洗って干して作る。全国のスーパー、コンビニ、ドラッグストアでも売られている。全国的にも人気がある。すき昆布は、厚が評判!! 厚が評判!! 厚が評判!!

田代産のすき昆布は、昭和40年代初期、田代名産地区の漁師さん達が漁の合間に「海の野菜」と呼ばれた海苔の三本を干し、塩水で洗って干して作る。全国的にも人気がある。すき昆布は、厚が評判!! 厚が評判!! 厚が評判!!



田代村の美しい風景

もっとお知らせしたい! 北三陸の魅力

海女さんとわたしたちの海

北三陸には独自の文化を持つ5つの市町村が並んでいます。個性豊かな北三陸をめぐる冒険を始めましょう!

***地域の宝:北限の海女**

「北限の海女」は久慈市の小袖地区で活躍する海女さんの総称。地元では「かっぎ」と呼んでいました。明治ごろから遠洋漁業で地元を離れる夫に変わってウニやアワビ、コンブなどの漁を行っていました。昭和34年にNHKのラジオドラマで「北限の海女」(水木洋子原作)が放送され全国に知られるようになりました。



北限の海女イメージキャラクター「アマリン」

田代産のすき昆布は、昭和40年代初期、田代名産地区の漁師さん達が漁の合間に「海の野菜」と呼ばれた海苔の三本を干し、塩水で洗って干して作る。全国的にも人気がある。すき昆布は、厚が評判!! 厚が評判!! 厚が評判!!



田代村の祭り風景

***海女の技と文化を受け継いでいこう**

海女さんが素潜りで現在も漁を行っているのは、日本と韓国だけであり、小袖の海女さんは、その北限に位置することから、日本だけでなく、世界的にも「北限の海女」になるといわれています。日本で海女さんが活躍しているのは18道県で、三重県の海の博物館の調査によると、全国で約2,200人(平成22年時点)の海女さんが活躍しています。最も多い県は、三重県の973人です。現在、小袖には約20人の海女さんがいます。



***高校生海女クラブ**

久慈市観光物産協会が、北限の海女の後継者育成をかねて、平成17年、地元高校生を対象に「高校生海女クラブ」を設立。夏休みを中心に、本物の海女さんから素潜りを教わったり、イベントを手伝って久慈市をPRしています。

野田村のホウチキは、栄養豊富な鰯の刺身に、新鮮な海苔を巻いて焼く。独特の旨みが凝縮されています。大きな貝柱で、燗で食べると、風味が凝縮!! 厚が評判!!

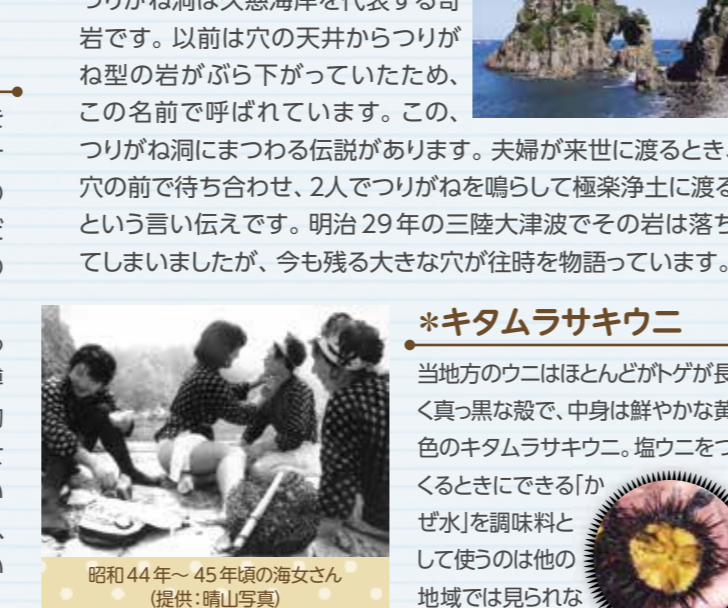
野田村の海岸では、古くから製塩が行われ、「だ塩」が有名です。久慈の海岸は、古くから製塩が行われ、「だ塩」が有名です。久慈の海岸は、古くから製塩が行われ、「だ塩」が有名です。久慈の海岸は、古くから製塩が行われ、「だ塩」が有名です。久慈の海岸は、古くから製塩が行われ、「だ塩」が有名です。



野田村の祭り風景

***久慈海岸とつりがね洞**

つりがね洞は久慈海岸を代表する奇岩です。以前は穴の天井からつりがね型の岩がぶら下がっていたため、この名前で呼ばれています。この、つりがね洞にまつわる伝説があります。夫婦が来世に渡るとき、穴の前で待ち合わせ、2人でつりがねを鳴らして極楽浄土に渡るという言い伝えです。明治29年の三陸大津波でその岩は落ちてしまいましたが、今も残る大きな穴が往時を物語っています。



***キタムラサクニ**

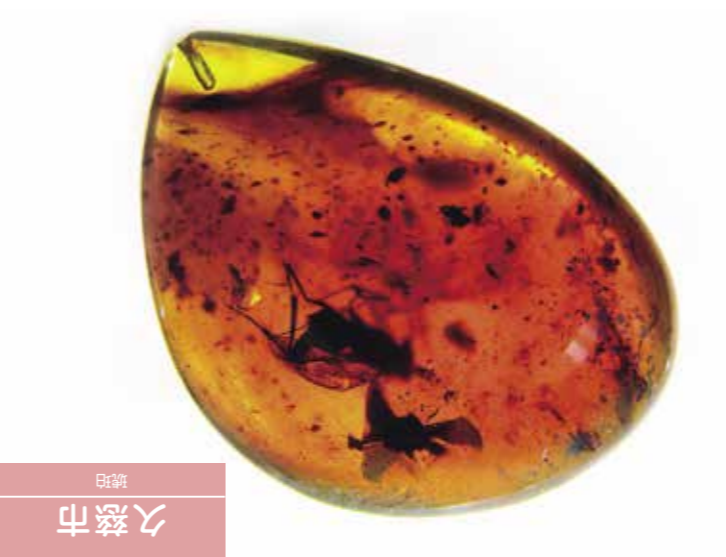
当地方のウニはほとんどがトゲが長く、黒い殻で、中は鮮やかな黄色のキタムラサクニ。塩漬をつくらぬにできるか、海水を調味料として使うのは他の地域では見られない文化です。

***海女さんの実演が見られます!**

小袖海女センターでは期間中、素潜り実演や海女フェスティバルが開かれ、海女さんの素潜りを目の当たりにできます。

久慈の海岸は、古くから製塩が行われ、「だ塩」が有名です。久慈の海岸は、古くから製塩が行われ、「だ塩」が有名です。久慈の海岸は、古くから製塩が行われ、「だ塩」が有名です。久慈の海岸は、古くから製塩が行われ、「だ塩」が有名です。久慈の海岸は、古くから製塩が行われ、「だ塩」が有名です。

久慈の海岸は、古くから製塩が行われ、「だ塩」が有名です。久慈の海岸は、古くから製塩が行われ、「だ塩」が有名です。久慈の海岸は、古くから製塩が行われ、「だ塩」が有名です。久慈の海岸は、古くから製塩が行われ、「だ塩」が有名です。久慈の海岸は、古くから製塩が行われ、「だ塩」が有名です。



久慈市の海産物

久慈地域は、あの連続テレビ小説「あまちゃん」のメインロケ地!

NHKの連続テレビ小説「あまちゃん」(平成25年4月1日～9月28日放送)で、メインロケ地となった久慈地域。ドラマは記録的大ヒットとなり、全国にあまちゃん旋風を巻き起こしました。

久慈駅前には、撮影に使われた衣装や小道具が展示された「あまちゃんハウス」がオープン。「もぐらんぴあまなか水族館」ではドラマの解説ボードや撮影セットなども展示されています。

「あまちゃん」ってどんなお話?

ヒロイン「天野アキ」は、東京のスピードについていけず引きこもりがちな高校2年生。夏休みに母の故郷である岩手県の北三陸を初めて訪れたアキは、海女として逞爽と海に落ちる祖母と出会う。この町で暮らすことを決意する。豊かな大自然の中で明るさと笑顔を取り戻し、その笑顔が地元の人々の活力となり、やがてアキは地元アイドルとしてまちおこしのシンボルとなっていく。

「あまちゃん」のロケ地は、久慈市山形町久慈。平蔵23年かたに「あまちゃん」のロケ地となり、久慈の魅力を全国に紹介する。久慈の魅力を全国に紹介する。久慈の魅力を全国に紹介する。久慈の魅力を全国に紹介する。久慈の魅力を全国に紹介する。

久慈の魅力を全国に紹介する。久慈の魅力を全国に紹介する。久慈の魅力を全国に紹介する。久慈の魅力を全国に紹介する。久慈の魅力を全国に紹介する。久慈の魅力を全国に紹介する。久慈の魅力を全国に紹介する。久慈の魅力を全国に紹介する。久慈の魅力を全国に紹介する。久慈の魅力を全国に紹介する。



洋野町のダイビング

いわて北三陸へのアクセスガイド

久慈までの交通アクセス
【新幹線】IGR二戸駅から下車後、JRバス(スワロー号)で約1時間10分
【直通バス】盛岡駅からJRバス(こはく号)で約2時間10分、JRバス(白樺号)で約2時間50分
【高速道路】九戸ICから約40分、軽米ICから約60分



「あまちゃん」ってどんなお話?

ヒロイン「天野アキ」は、東京のスピードについていけず引きこもりがちな高校2年生。夏休みに母の故郷である岩手県の北三陸を初めて訪れたアキは、海女として逞爽と海に落ちる祖母と出会う。この町で暮らすことを決意する。豊かな大自然の中で明るさと笑顔を取り戻し、その笑顔が地元の人々の活力となり、やがてアキは地元アイドルとしてまちおこしのシンボルとなっていく。

「あまちゃん」のロケ地は、久慈市山形町久慈。平蔵23年かたに「あまちゃん」のロケ地となり、久慈の魅力を全国に紹介する。久慈の魅力を全国に紹介する。久慈の魅力を全国に紹介する。久慈の魅力を全国に紹介する。久慈の魅力を全国に紹介する。



久慈市の祭り風景

お国自慢手帖

北三陸トラの巻
いわて北三陸
お国自慢手帖

「あまちゃん」ってどんなお話?
ヒロイン「天野アキ」は、東京のスピードについていけず引きこもりがちな高校2年生。夏休みに母の故郷である岩手県の北三陸を初めて訪れたアキは、海女として逞爽と海に落ちる祖母と出会う。この町で暮らすことを決意する。豊かな大自然の中で明るさと笑顔を取り戻し、その笑顔が地元の人々の活力となり、やがてアキは地元アイドルとしてまちおこしのシンボルとなっていく。

北三陸 お国自慢



実はこんなに スゴイ 北三陸をご紹介!

北三陸の風土と暮らし

やませ

ホウレンソウを育てる「やませ」
北三陸では梅雨から盛夏にかけて、たびたび冷たく湿った霧が海から吹き込みます。これが「やませ」と呼ばれる、オホーツク海気流から吹く北風または東風です。「やませ」の語源は、山を背にして吹く風が「山背(やませ)」になったという説や、恐ろしい夜魔が来る様子になぞらえて「闇風(やませ)」がなまったという説もあります。昭和55年には、この「やませ」が強く吹き込んで、お米は大被害となりましたが、これを逆手に取って、冷涼な気候を好むホウレンソウ栽培を久慈地方全域で進めました。今では久慈地方の主要な特産物となっており、「やませ」が吹く夏場だけでなく冬場の「寒締めほうれんそう」も人気の一品となっています。

日本初 三陸鉄道

日本初の第3セクター鉄道!
日本初の第3セクターとして昭和59年に開業した三陸鉄道。地域の足として親しまれる「さんてつ」は、ディーゼル車としては日本で初めて、飲料の自動販売機を車両に搭載したほか、非電化の鉄道としては日本一長いトンネルがあるなど、ユニークな記録も持っています。東日本大震災により大きな被害を受けましたが、部分的に運行再開をすすみ、平成26年4月6日には、ついに南北リアス線が全線開通しました。「こたつ列車」や「お座敷列車」などの観光列車ほか、さまざまな企画列車を運行し、県内外の旅行者に喜ばれています。

生産量 日本一 木炭

東北地域の木炭生産量は全国一
岩手県産の木炭は、藤原三代の平泉文化が開花した12世紀頃に、甲冑の製造や仏具仏像の彫刻などの工業用燃料として発達し、大正元年には、日本一となりました。今では、東北(久慈・二戸)地域は、全国の木炭生産量の1/4を占める、日本一の木炭産地です。岩手木炭の原材料は、天然のナラの木100%。再生能力に優れたナラの木は、一定のサイクルで伐ると新芽を出し、20~25年で元気に生まれ変わります。一方、手入れをしない年で重なるナラの木は、再生能力が低下してしまいます。森林の再生サイクルをサポートする木炭は、まさに「森林のお付き合い」エネルギーなのです。

栽培面積 日本一 山ぶどう

久慈地方の栽培面積は全国一!
山ぶどうは、日本古来の野生ぶどうです。山ぶどうの栽培面積は岩手県が全国一!久慈地方はその40%を占めます。久慈地方では古くから滋養強壮に大変良いとされ、山野から採取される山ぶどうの果汁は、産前産後の女性に飲用されるなど、大変貴重なものでした。山ぶどうの果汁は、普通のぶどうの約8倍ものポリフェノール、3倍の鉄分、4倍のビタミンCを含むなど栄養価に富み、美容効果にも優れているといわれています。久慈地方の涼しい空気、水・土が育んだ山ぶどう。「やませ」によりじっくりと育ち、熟成された果実は、大自然の力がぎゅっと詰まっています。

国内北限 チョウセンアカシジミ

国内北限の生息地
チョウセンアカシジミは、日本海を取り囲むように大陸と日本に分布する珍しいチョウです。日本では、岩手県、山形県、新潟県の一部に生息するのみで、久慈市が国内北限の生息地とされています。このチョウは飛行距離が短く、日本海を渡れないことから、日本列島が大陸と陸続きであったことを示しているといわれています。また、チョウが卵を産みつけるトネリコの木は、弾力性に優れ、バトや建築資材などに使用されます。

北三陸マップ

三陸は、ジオパークの宝庫!

ジオパークって何?
「ジオパーク」とは、ユネスコが支援し、世界ジオパークネットワークが推進する世界的な取り組みで、地球科学的に貴重、あるいは素晴らしい景観を持つ自然公園の一種のことを指します。2013年に日本ジオパークの認定を受けた「三陸ジオパーク」には、2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震をはじめ、歴史的に繰り返されてきた地震津波災害等、地球活動の歴史を伝える地質遺産が数多く存在しています。

北三陸ジオは、ここが見どころ!

- 洋野町 種市海浜公園**
世界に誇るヘルメット式潜水技術「南部もぐり」発祥の地。忍岩に代表される岩礁や砂浜など複雑な海岸地形が広がります。
- 久慈市 小袖海岸**
北限の海女で知られる小袖海岸。周辺には白亜紀にマグマが固まった花崗岩や火山岩が分布し、波に侵食されて複雑な岩礁や海食洞がみられます。
- 野田村 十府ヶ浦**
千年以上も昔からの貴族たちの歌にも詠まれた風光明媚な海岸。東日本大震災により被災しましたが、復旧工事が進められています。
- 普代村 普代水門**
繰返し三陸を襲う大津波から村を守るために建設された、高さ15.5mの普代水門と太田郡防波堤。東日本大震災で唯一機能した防災施設です。
- 田野畑村 北山崎**
主に1億3千万年前頃の火山活動による噴出物が、海底で波の浸食で平らになり、ゆっくり隆起して現在の標高(約200メートル)まで達しました。

手わざ自慢

- のだ焼**
野田から新たな発信 洗練された意匠の陶器
昔ながらの穴窯で焼きしめられるのだ焼は、土の持つ素朴な質感が魅力。コーヒーカップや茶碗のほか、オブジェも人気。
- 大野木工**
木のぬくもりを感じる職人が丁寧に作った器
木目の美しさを生かし、木のぬくもりを感じさせるシンプルながら特長。特殊加工により耐水性や耐久性にも優れた、木工職人手作りの器です。
- 小久慈焼**
八戸藩御用窯も誇めた歴史200年の窯元
小久慈焼の代表的な作品は、酒や醤油を口の小さな容器に移し替えるときに用いられる注ぎ口の長い片口。ほかに食器や日用雑器も。特有の釉薬のもつ深みと素朴さが魅力。
- 鉄山染**
藩政時代の鉄山をしのぶオンリーワンの染物
かつて普代にあった鉄山跡を、酒や醤油を口の小さな容器に移し替えるときに用いられる注ぎ口の長い片口。ほかに食器や日用雑器も。特有の釉薬のもつ深みと素朴さが魅力。

風景

独り占めではもったいない 誰かに見せたいあの風景

- 平庭高原**
300ha 30万本のシラカバ林
平庭高原では、国道の両側に約4kmにわたってシラカバ林が広がっています。6月には、レンゲツツジ、秋には紅葉が美しく、また、冬には、平庭高原スキー場でシラカバ林を眺めることができ、一年を通して楽しめます。
- 陸中黒埼灯台**
東北一高いところに建つ日本の灯台50選
東北で一番高い標高130mの断崖上に立つ灯台。秋田県鹿角市で同じ北緯40度に位置する入道崎灯台と対を成し、日本の灯台50選にも選ばれています。近くには、太陽光で回る高さ4mの地球儀(北緯40度のシンボル塔)があります。
- アンモ浦の滝**
海に落ちる数少ない滝 落差は岩手最大の150m
アンモ浦の滝は、落差150mで岩手県最長。海に直接流れ落ちる全国的にも珍しい滝です。アンモ浦の「アンモ」はアイヌ語の「アンモ=鬼」という意味。天気の良い日は逆光となり撮影は難しく、多少薄曇りの日が最適です。
- 鶯の巣断崖**
高さ200mの断崖が5つ連なる
北山崎とあらぶ北三陸を代表する景勝地。足がすくむような圧倒的な高さがあり、崖の中腹にウミウミの巣があることがその名の由来。弓状にえぐられた高さ200mの断崖が5列に連なる様は、さながら巨大な屏風がたてかけたよう。この壮大な景色をヒントにしたとされる吉村昭の「星への旅」の文学碑もあります。
- 横木沢橋・思案坂大橋・思惟大橋**
2つの深い谷にかかる3つの高い橋
昔、田野畑村へ赴任してきた役人や教師たちが、あまりの道の険しさに、このまま行くのか、それとも引き返そうかと思案したという横木沢の「思案坂」。そして何とかそこを通り抜けた者も、その先に待ちかかえるさらに深く大きい松前川に、ついに足もたれ出でて帰ったという「辞職坂」。思案坂にかかる橋は、横木沢橋(谷底から高さ105m)と思案坂大橋(115m)。辞職坂にかかる橋は、思惟大橋(120m、写真)。

おでかけ

誰かを連れてまた行きたい そんなおすすめスポットは?

- 関牛**
東北唯一の関牛大会
塩を運ぶ牛の隊列の先頭を決める突合せが関牛の始まりで、久慈の関牛は、東北では唯一。また、久慈市の短角牛の飼育頭数は全国一で、関牛の素牛を全国へ供給し、関牛の本場では全国「南部牛」として活躍しています。
- 大野パークゴルフ場**
本州最多のコース数
パークゴルフのルールは、普通のゴルフとほぼ同じですが、クラブとボールが少し大きめ。大野パークゴルフ場は、本州で最多の111コース・99ホールを備え、全国大会も開催されるなど、愛好者が集います。
- 新山根温泉 べっぴんの湯**
東北一の強アルカリ泉
通常のアルカリ泉はpH9前後、国内最高はpH11.3という中、べっぴんの湯は、pH10.8、肌が「つるつる」「すべすべ」し、「べっぴん」になると評判です。また、温泉の周辺は、石灰岩の地質で、近くを流れる川や湧き水もアルカリ性といわれています。
- 南部もぐり**
日本唯一の潜水士養成学科
南部もぐりは、明治31年に種市沖の座礁船引き上げのため、千葉県から訪れた潜水士、三村小太郎が地元で唯一のヘルメット式潜水技術を伝授したことが始まり。県立種市高等学校には、潜水士を養成する日本で唯一の海洋開発科があり、卒業生は世界各地の海で、港湾土木や海底調査などで活躍しています。
- マリンローズパーク 野田玉川**
日本唯一の潜水士養成学科
日本唯一の潜水士養成学科

「二戸地域」の自慢スポット

- 御所野遺跡(一戸町)**
縄文遺跡数は、北海道・北東北が最も多く、縄文文化の様相を今に伝える遺跡の宝庫。御所野遺跡は、平成20年に世界遺産暫定リストに登録。
- 天台寺(二戸市)**
奈良時代(728年)、聖武天皇の勅命により創建されたと伝えられる天台宗の寺院。作家の今東光と瀬戸内寂庵名譽住職が住職をしていたことで有名な古刹。
- 折爪岳**
二戸市・軽米町・九戸村 県立自然公園折爪岳は、標高852mの独立峰。東北有数のヒメボタルの生息地でもあり、7月上旬~中旬には、百万匹ともいわれるヒメボタルの幻想的な光が楽しめます。

プチ自慢

- 内間木洞**
水筒とコウモリたちが織りなす 幻想的なハーモニー
洞内に数々の長さを超える鍾乳洞(総延長6350m)で、岩手県天然記念物に指定されています。若手県天然記念物の二戸マツコウモリ洞内には絶滅危惧種の二戸マツコウモリや昆虫類等の貴重な生物が生息し、7月に開催される内間木洞祭り、2月の水筒(ひょうじゆん)祭りに成長した水筒の(こ)観察会)の年、2回だけ公開されています。
- 大唐の倉**
美しい縞模様は 2300年以上も前の地層
野田港に突き出した高さ50mの断崖は古第三紀凝灰岩という地層。地質学的にも貴重ですが、見た目にも美しく、国産45号を北上してくると遠くからでも目につきます。平清盛の嫡男・重盛の2人の息子と宋の高僧・聖光法師の乗った船が流れ着いたともいわれています。
- 三崎半島**
地元っちは知っている 三崎半島の巨人
三崎半島の上の平らな地形は、かつて海底であった時のなごり。この土地が隆起して出来たことを物語っています。普代村方面から見ると久慈市の三崎半島に浮かび上がる岩肌は、海に面して歩いていこうと思えば、みかきの巨人といわれています。

三陸ジオパーク推進協議会 <http://sanriku-geo.com>